

軍司令官FL/16D9D及光華門御視察。

13D滌県ヲ占領ス

〔発信〕 留守宅ニ/其他数通

朝七時半ニハ起床セシモ当番君飯ヲ運シテ呉レタノ八九・〇〇、木崎建築部長来訪、九・三〇ヨリノ聖旨伝達式ニ正ニ遅レントス。式後喫飯。

方面軍参謀長、同副長本日上海ニ帰ルトテ告別ニ来、国崎支隊及常設一カ師団ヲ引キ抜クコトノ内報ヲ受ク(軍ニテ皆期セスシテ16D)

午後〇時二〇分御出発中央病院ノFL/16D御視察現在百六十名ノ患者、軽傷多シ。次テ光華門ノ戦蹟ヲ36i長及歴戦中隊長(少尉)大隊長(中尉)ヨリ聴取セラル。次テFL/9D御見舞御帰部五時近シ。

夕食後参謀長ト共ニ御召ニ預カリ御談話ヲ拝聴ス。御職務上ノコトヲ碎ケテ御示シアリ、今日光華門ノ勇士ニ御佩刀ヲ賜フ旨ノ畏キ御詫ヲ拝シ尚審査スルコトトシテ引退ス。

◇ 十二月二十一日 晴

〔予記〕 ◎軍司令官戦死者ノ告別式施行

◎南京ノ日本人街建設ニ就テ軍司令官ノ決済ヲ受ク(第二課)

◎第二課長ニ遺棄物蒐集ノ件ニ就テ軍司令官ノ意図ヲ伝達

上海ニ残セシ当番ト荷物モ一到着スルダロウト待チ詫ヒルモ今日モ到着セス。高橋副官ニ依頼シテ平野副官宛照会電報ヲ発ス(午後)或ハ行キ違イニナルヤモ知レス。

去ル十三日軍司令官北方高地ノ自衛戦闘ニテ戦死セシ者数氏ノ告別式施行。後該高地ノ陣地ニ登リ弔意ヲ表ス。偶々軍司令官官殿下モ御登リ遊ハサレテ御降り中ナリ。御元氣好サニ心強ク感ス。

N大佐ヨリ聞クトコロニヨレハ山田支隊俘虜ノ始末ヲ誤リ大集団反抗シ敵味方共ニMGニテ

撃チ払ヒ散逸セシモノ可ナリ有ル模様。下手ナコトヲヤッタモノニテ遺憾千万ナリ。

◇ 十二月二十二日 晴

〔予記〕 野戦衛生長官小泉中将来部/各部南京軍軍司令官ニ移転

長中佐業務打合せノ為メ北京ニ行ク。大内参謀天谷支隊及13Dヨリ帰来其状況ヲ聞ク。天谷支隊死傷一六〇、13D同六〇位、物資モアリテ心配ヲ要セス『小泉陸軍省医務局長来部、昼食ヲ共ニス。内地ノ状態官署ノ活動、聊カ心許ナシ。小田原評議多キカ如シ』将来ノ作戦企図ニ就テ軍司令官ニ報告(実ハ殿下ヨリ発意)其他二十四日ノ会議書類ヲ点検ス。

今日モ別段ノ要件ナシ、聊カ退屈ナリ、

S大尉無線通信ニ部隊号ヲ使用スルコトヲ上申シ来リシニ付却下、何ノ為メ部隊号ヲ用ヒス長ノ名前ヲ以テセンヤヲ知ラサルニヤ。

光華門ノ先頭將校ハ矢張り山際少尉ナリ。工兵ハ兵力先頭ニ進出シ日章旗ヲ掲ケン如シ。

◇ 十二月二十三日 微雨

〔予記〕 軍司令官南京ニ移転(首都飯店)

久シ振りノ降雨ナリ。午前九時五十分湯水鎮出發、途中新配置ニ就ク部隊ニ時々車ヲ止メラレ十一時過キ着、首都飯店ニ入ル。室ハ三階ノ北側ナリ、東カ開キアルハ幸ナリ、何時モ参謀長ノ傍杖喰ツテ日蔭者ナリ、又己ムヲ得サルトコロ。

上海ニ残セシ当番荷物ヲ宰領シテ都合好ク到着、如何ニ待チシコトカヨ、折田少佐、其他兵站部ノ他ノ職員ト同行セシナリ。着ノミ着ノ儘ノ生活約十日間。

午後雨ヲ衝イテ各部ノ屯スル高等法院ヲ視察ス。ホテルニ比シテ内部頗ル不良、旧式建物ニテ光線ノ具合悪シ。法務部長ハ我所ヲ得タリト謂ハン顔ナリ。獣イ部各部ニ先ジ良室ヲ占領セ